

障害者らのエアロビ大会

400人はつらつと

横浜 4歳から90代40チーム

知的障害者ら個人の日、横浜市港北区の横濱アリーナでエアロビ大会が開かれた。10回目の記念大会で、4歳から90代の約400人が日ごろの練習の成果を披露した。ア

知の障害者ら個人の日、横浜市港北区の横濱アリーナでエアロビ大会が開かれた。10回目の記念大会で、4歳から90代の約400人が日ごろの練習の成果を披露した。ア



知的障害者ら個人の日、横浜市港北区の横濱アリーナでエアロビ大会が開かれた。10回目の記念大会で、4歳から90代の約400人が日ごろの練習の成果を披露した。ア

支局長だより



寺田 高平 横浜支局長

湘南への入り口にあたる小田原市板橋にある市郷土文化館分館・松永記念館を訪れる機会がありました。明治から昭和の東国家で「権力の魂」と言われた松永安左衛門(1875-1971年)が晩年を過ごした場所です。

それは広い敷地ではありませんが、山すそに茶室や庭園、池を中とした庭園などが配されていました。庭園を散策すると、さりげなく置かれた石が茶室時代の寺の礎石だったり、黒部から運ばれた重さ10トンの自然石だったりと、驚かされます。中でも松永翁が住んだ老櫓は、畳の床の間に施された広間や茶室がある近代欧風建築家で、広間に座って大きなガ

又感極しに庭を歩いて、静寂に包まれてくる思いがしました。松永翁に興味を持ち、関連書籍をいくつか読んでみました。長崎県・碧松で育ち、大の電力会社社長として活躍する中で、事業拡大や合併によって力をつけて「電力王」と呼ばれた。戦時体制の電力国営化に反対し、戦後は現在の電力会社体制となった民営化・9電力分離案を、少数派の立場ながら

実現させました。長期的な視点から電気料金の約7割増しを推進し、四国勧告の中で、達成して今の電力会社の礎を築いたと言われています。一等地帯を受けながら、独断で発展したというエピソードを推し進め、豊子子重むれた財界人に、元経済同友会代表幹事だった木田川一隆、元東京電力社長がいます。政治献金に絡んで電業代の内、不払い運動に直面し、企業と政治も絡み合っている。向きながら、過去のも一つの方法で、思いました。

小田原の板橋にて

湘南 KANAGAWA

横浜支局 千231-0005 横浜市中区本町1-3 総編集 千245-2111/2471 千245-2117/2475 川崎支局 千210-0004 川崎市川崎区喜本町7-2 千244-2440/8518 千244-2222/7471 千243-0417 海老名市本郷27-0001 千246-2380/8840 千246-2380/5881 小田原支局 千250-0013 小田原市南町4-7の11 千2485-2215/3032 千2485-2211/3776 編集局 千246-2227/0053 編集局 千246-2227/2801 編集局 千2467-2210/0525 相模原支局 千242-7011/8229 平塚支局 千2483-2004/808 藤沢支局 千245-1500/0872 大和荘 千246-2573/4472

広告 神奈川毎日広告社 千245-2401/6881 折込広告毎日野山